

名古屋圏で楽しく暮らすためのタウン情報&コミュニティーマガジン

特別号

クラブナゴヤ

[発行/編集] 株式会社オール
名古屋市東区泉1-22-26 成田久屋ビル7F
TEL 052-961-3222
FAX 052-961-3226
E-mail all@a.email.ne.jp

クラブナゴヤの「エコロジー特集号」

都心から、ECO×MERRY!

BIG
PRESENT

抽選で合計
154名様に当たる
豪華プレゼント!



[earth] © BBC Worldwide 2007

特集1 都心から始まるエコムーブメント

『ECO×MERRY』って何?!

特集2 ECO×MERRY応援プロジェクト

大林宣彦監督作品『夢の川(仮題)』はじまる!

クラブナゴヤがインターネット
でもご覧いただけます!

clubnagoya.net

発行協力/名古屋市交通局



本カタログは再生紙を使用しています。

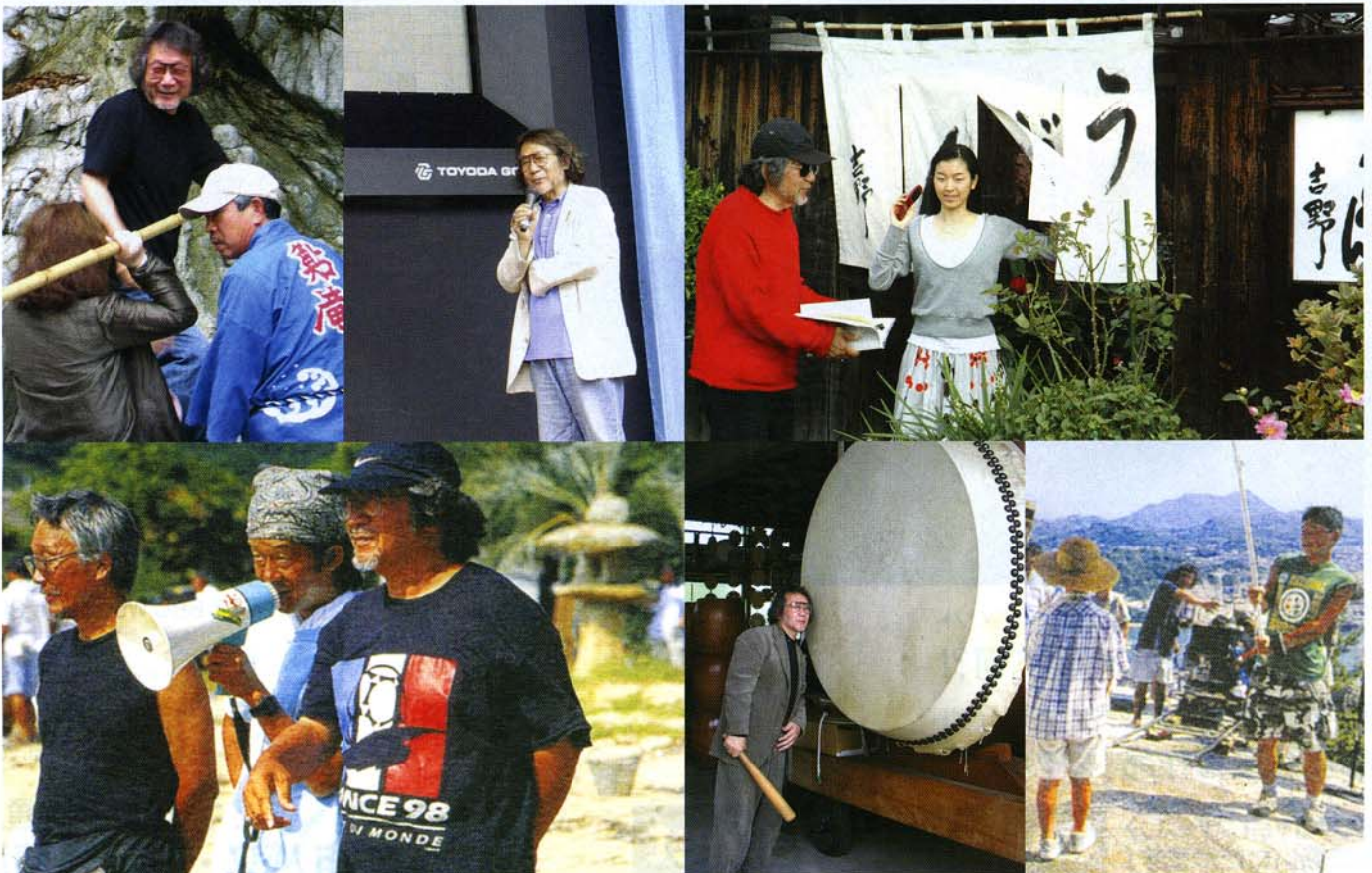
名古屋市交通局
市バス・地下鉄情報

名古屋市交通局ウェブサイト
<http://www.kotsu.city.nagoya.jp/>

都心から、ECO×MERRY!



大林宣彦監督から、100年後の名古屋への贈り物。



クラブナゴヤ 特別号



愛・地球博の理念を継承し、暮らしの中に共生思想と環境行動を根づかせていこうと独自の活動を行っているEXPO Cafe発展協議会(名古屋市中区)では、名古屋市が区制施行100周年を迎えた本年4月から1年間を「ECO×MERRYイヤー」と設定し、MERRY Projectを展開しているアートディレクターの水谷孝次氏(東京都港区)とともに、各種の事業を主催、応援していきます。

都心から始まるエコムーブメントを推進する「ECO×MERRYプロジェクト」に、名古屋市民はもちろん、企業や行政、各種団体の皆さんの積極的なご支援、ご参加をお待ちしています。

有限会社水谷事務所&EXPO Cafe発展協議会



[特集I]

ECO×MERRYって何?!

04~07 ●ECO×MERRY対談 水谷孝次&原田さとみ

08 MERRY PROJECT HISTORY

●EXPO Cafeとのコラボレーションプロジェクト

09 「MERRYこどもの森づくり」

10 ●今後の予定 ECO×MERRYトーク

11 ●今後の予定 ECO×MERRYタウン

12~13 《100年後に伝える、大切な人とまちへのメッセージ》

14~15 ●クラブナゴヤがお勧めするエコロジー・名作DVD
「earth」「不都合な真実」

16~17 ●ビッグプレゼントコーナー
抽選で154名にプレゼント

18~20 名古屋市交通局からの市バス・地下鉄情報

21 《100年後に伝える、大切な人とまちへのメッセージ》

[特集II]

大林宣彦監督作品「夢の川(仮題)」

22~27 大林宣彦監督 名古屋を撮る

●コンセプト ●ストーリー ●メッセージ

28~31 大林宣彦監督作品をふりかえる

●クラブナゴヤ「ECO×MERRY」特別号

発行日:2008年5月1日/発行人:梅田郷/協力:名古屋市交通局/編集:クラブナゴヤ編集室・EXPO Cafe発展協議会

発行:株式会社オール/〒461-0001 名古屋市中区泉1-22-26 成田久屋ビル7階/ TEL 052-961-3222 FAX 052-961-3226

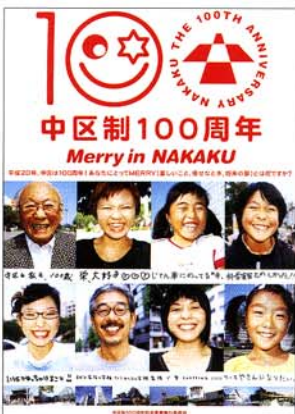
中区制100周年を、 エコシテイ 元年に。

いよいよスタート!

都心から始まるエコ・ムーブメント「ECO×MERRYプロジェクト」

今月はなんと、中区が産声をあげてから100年。この喜びをより多くの人々の笑顔で飾ろうと企画されたのが、「MERRY IN NAKAKU (メリー・イン・中区) / 中区制100周年記念事業実行委員会」。あなたにとってMERRYとは何ですか?との問いかけを、笑顔の写真とメッセージで大型ポスターに表現、中区各所に展示するプロジェクトです。「ああ、あの笑顔のポスターね。」と気がつかれた人もこれからの方も、1年間は中区にお目見えますのでどうぞお楽しみに。

さて、このMERRYは広告やファッションの世界で活躍されている著名なアートディレクター・水谷孝次氏のライフワークですが、実は水谷氏は中区大須の出身。そこでこの機会に、地元である栄・大須を中心に楽しく参加できるECOイベントを行い、都心からエコ・ムーブメントを起こそうと「ECO×MERRYプロジェクト」を企画。その第1弾として4月20日(日)に「ECO×MERRYクリーンアップ」を開催、お気軽にどんどんご参加ください。また、同じく中区に自らのファッションブティックを持ち、MERRYのファンでもあるタレントの原田さとみ氏も本プロジェクトの主旨に賛同して参加。そのお二人に、プロジェクトに寄せる思いや期待を語っていただきました。



中区制100周年のポスター第1弾、第2弾



Satomi Harada

Koji Mizutani

原田さとみさんのお店「ベネローブ・パリ・ベティヨン」で談笑するお二人。

モダン&レトロの融合は、 パリの雰囲気？

原田 水谷さんとお目にかかるのは初めてですが、以前ニアミスがあったんですよ。

水谷 ホントですか？

原田 5年前CBCラジオの番組をやっていた時、隣りのスタジオに水谷さんがゲストとして出演されていて、そのお話が大変興味深かったので、今回お会いできるのを楽しみにしていました。水谷さんは中区大須のご出身とか？

水谷 ここから(原田さんのブティック)歩いてすぐに実家があります。子どもの頃は白川公園やこの辺でよく遊んでました。昔と比べるとこのエリアはずい分変わりましたね。ナディアパークができてから若者が多く、おしゃれになった。また、一步入るところという昔ながらの懐かしいノスタルジックな空間もある、モダンとレトロの融合というか。

原田 そうパリのですよ。地区からすると、オシャレな大人達が集うオベルカンフあたりかな。

厳しい環境の国の 子どもたちや女性は、 先見の明を持っている。

水谷 パリといえば、原田さん。どういうきっかけで？

原田 私は大府市の生まれで、学生時代そして結婚してからずっと名

古屋です。当時タレントのお仕事をたくさんいただいた期間でしたが、何か違う、このままではいけないって思っ、パリに1年間住みました。環境を変えることで多くのことを学び気がつきました。この期間のおかげでパリとのつながりができ、妹と一緒にこのブティックも持ったんです。水谷さんはメリーの取材で今までに世界23カ国も行かれますよね？

水谷 アメリカ、ヨーロッパ、南米、ロシアなど回りましたが、子どもたちの笑顔は環境のきびしい国のほうが、豊かという方がいいですね。ただ最初は警戒心の方が先に来ますね。たとえばマサイ族を訪ねた時も、自然の中の子ども達と同じレベル、視線でいかないと、心を開いてもらえない。それは言葉の問題ではなくて、気持ち。自分はこうしたいという気持ちに通じればあとはOK、いい笑顔が生まれますよ。

原田 すてきですよ。私も子どもを持つ母ですし、どの国の子どもたちもみんなが笑顔でいられたらと思っっています。水谷さんは世界の子どもの笑顔の撮影と一緒に、そのエリアのクリーンアップ、「ゴミ拾い」もされています。

水谷 ええ。環境は本当に大切です。たとえばスラム街のようなきびしいところでも、その足もとからきれいにするには、マイナスからプラスに変える一歩だと思っます。キューバでは、広場で撮影が済んでゴミを拾おうとしていたら、最初は遠巻きに僕



Merry in NAKAKU 屋外ディスプレイ



水谷さんと世界中を旅した愛用のコンタックスT2

子どもの頃に思っていたことが原点のメリー・プロジェクト

を見ていた子どもたちが戻ってきて、なんと手伝ってくれたんです。しかも楽しんでやっっている。その国の教育もありますが、エジプトのピラミッドでも、アフリカでもゴミを捨ててはいけません。「今の地球はヤバイよ。」その感覚は大人以上に子どもたちが感じているし、環境や教育の大切さは、大人の女性の方がより強く思っっている。世界を回って、実感しましたね。

原田 メリー・プロジェクトが生まれたきっかけは、何だったのですか？

水谷 大須で育ち、体の弱かった父親の病院に付き添ったりして、その時、何か人の役に立つことがしたいと、子ども心に思ってました。学生の頃は70年安保があり、平和を考えるイベントやコンサートもやったりしましたが、その後東京の田中一光事務所でグラフィック・デザイナーの仕事を始めました。その時はゴミ箱の中からデザイナーとしての基本をいっぱい学びました。色の配合やレイアウトなどデザインのヒントが、捨てられたものの中にあるんですよ。それから広告のクリエイティブの世界を中心に30数年、高度成長に乗りバブルの時代も経て、自分の人生、お金のためじゃなく、子どもの頃に思っただけ何か世の中に役に立つことがしたい。しかも自分が楽しめることを：

エコからエコへ。 エコ・エンターテインメントな街・ 中区を発信

原田 なるほど一人でもコッソツとできること。それが現在のメリーに繋がっていったんですね。中区100周年に際し、何か思うことはおありですか？

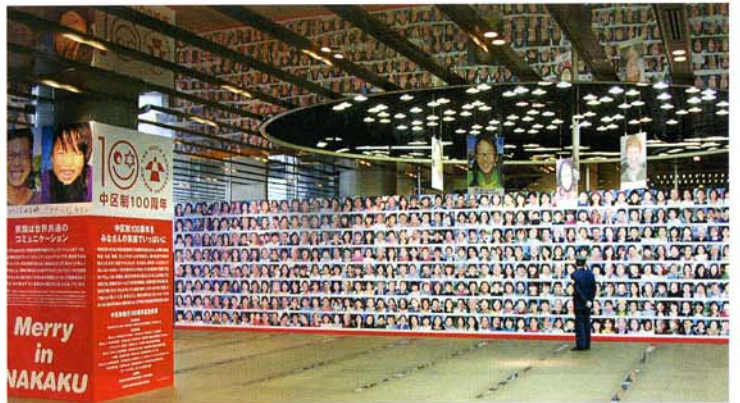
水谷 実は、愛・地球博開催年の2005年の5月と9月に「ゴミ拾いプロジェクト」を中区で開催、1000人が集まってくれました。環境を変えろという、たいそうなことだと思えるかもしれませんがそれは違います。身の丈にあった、小さなこと、身近なことから始める。足もとのゴミを拾ってメリーなハッピーな笑顔になる。せっかく環境をテーマに愛・地球博で世界中の人たちと盛り上がったんですからね。この地域の中心地である名古屋の中区を、エコ・コミュニケーション都市として、発信していきたいですね。

原田 私は仕事柄、パリへはよく出かけるのですが、昨年の夏からパリの街の中でレンタサイクルが始まったのです。便利で機能的なシステムなのですが、そのデザインもおしゃれなんです。環境問題もアートやデザインと力を合わせるとさらに広がりますよね。だから中区は水谷さんですね。

水谷 外から見ると名駅の様変わり印象的ですが、中区には名古屋



Merry in NAKAKU
ディスプレイ



原田さとみ

1987年モデルとしてデビュー。翌年、深夜のTV番組「ラジオDEごめん・金曜日の王様」(CTV)での出演を期にタレントとして、東海地区を中心に活躍。00年からは出産・育児のためタレント活動を休止。その間、自ら経営するセレクトショップ「ベネローバ・パリ・ペティヨン」にてファッションの分野での表現を続ける。さらに「お母さん」という立場から地球環境に配慮した持続可能な社会づくりに興味を持ち「人と地球にやさしい」をテーマに活動。05年タレント活動を再スタート。東海テレビ「びーかんテレビ」水曜日にコメンテーターとしてレギュラー出演中。



水谷孝次

1951年名古屋市中区大須生まれ。大学卒業後上京し、桑沢デザイン研究所に入学。77年日本デザインセンター入社。83年水谷事務所設立。東京ADC賞、ポスター広告電通賞、JAGDA新人賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞、NY・ADC金賞など、国内外の数々の賞を受賞。また、00年のラフォーレ原宿を皮切りにスタートしたコミュニケーションアート「Merry Project」は、東京、ロンドン、神戸(Merry in KOBE)、そして愛・地球博(Merry EXPO)での開催を経て着実にその輪を広げ、近年はエコ・アート大賞エコ・コミュニケーション賞、グッドデザイン賞、キッズデザイン賞など、数々の賞を受賞している。
<http://www.merryproject.com>

開府400年の歴史と伝統があります。名駅が機能集中型だとすれば中区は機能分散型で、回遊する楽しさにあふれた発見と喜びの街です。そこに、「環境」という時代が求めるテーマを加える。あとはアクションプランが必要ですね。

原田 これからはみんながシェアをする時代です。自分だけの「エコ」ではなく、CO2の削減や環境を考えたエコを。

水谷 だからこの1年の中区は、エコイヤーとして、みんなに声をかけ協力してもらおう。結果をいきなり求めるのは難しいでしょうが、1年かけてエコ・ムーブメントを起こし、エコシティとして育てていくような地道な努力が必要だと思います。それはお店も企業も、みんなが参加できる仕組みが求められるでしょうね。

原田 エコを実践してヒトも地球もみんなメリーになる。ECOXMERRY(エコ・メリー)の最初のイベントは、4月20日のECOXMERRYクリーナアップ。

水谷 そうですね。一般の方も大歓迎ですので、興味がある方は事務局にお問い合わせください。本格的な展開は、秋に行うECOXMERRYタウンです。これには、栄周辺のお店や企業の皆さんにも参加していただく予定です。

原田 私もできる限り協力します。みんなで中区から始まるエコ・ムーブメントを一緒に盛り上げましょう。

MERRY PROJECT

「あなたにとってMERRY(楽しいこと、幸せなとき、将来の夢など)とは、何ですか?」このシンプルな質問を世界中の人々に投げかけ、その笑顔とメッセージを集めています。MERRY PROJECTは、「笑顔は世界共通のコミュニケーション」をテーマに、MERRYの輪を広げていくコミュニケーションアートです。笑顔とメッセージに込められた、一人ひとりのMERRYな想いと、地球を大切に思う気持ちは、国境を越えてつながっていくと思います。



① MERRY AT LAFORET 2000.01.04-01.26

新しい時代をハッピーにするのは、屈託のないとびきりの笑顔。心から笑って、もっとハッピーになろうよ。2000年にラフォーレは、「ミレニアムスマイル」からスタート。ラフォーレは「Merry」をキーワードに、ラフォーレミュージアム原宿とラフォーレ原宿館内を会場にした写真&ポスター展を開催しました。



② MERRY IN KOBE 2001.09.13-2003.12.31

阪神大震災から6年。神戸からありがとうの笑顔をみんなに。阪神大震災時に寄せられた支援に対する感謝の気持ちを、笑顔で発信。「神戸21世紀・復興記念事業」の一環として開催。神戸で撮影された500人近いMERRYな笑顔とメッセージが神戸ハーバーランドオーガスタプラザの全館やJR神戸駅を飾りました。



③ MERRY IN NEW YORK 2003.02.14-02.23

あの1年後のN.Y.9.11をはさんで9日間、撮影を敢行した。水谷がシャッターを押した400人に及ぶFROM N.Y.の笑顔とその直筆メッセージが六本木のTHINK ZONEに、床面や壁面にインスタレーションとして映し出され、MERRYな空間を体感できるアートイベントとして提示されました。



④ MERRY EXPO 2005.03.25-09.25

世界23カ国2万人以上の笑顔とメッセージを「愛・地球博」のエキスポビジョンで上映しました。また地球環境を足下から見直そうというテーマで「MERRY CLEAN UP PROJECT」を世界各国で開催。その集大成として各国のパビリオンから使用済みダンボールを表紙に再利用した本を出版。



⑤ MERRY EXPO CLEAN UP PROJECT (JAPAN) 2005.05.30-09.19

全4回のクリーンアップを実施。5月30日(ゴミゼロの日)には名古屋市栄でクリーンアップを行った。クリエイティブな若者達がキッコロとモリゾーと一緒に参加し、名古屋の街が本来持つ"すっぴん"の美しさを取り戻しました。



⑥ MERRY こどもの森づくり 2006.10.23-

子どもたちの「生きるチカラと健全な資質」を育むためには、幼児時代の十分な自然体験活動と環境学習が必要であると考え、就学前の子どもたちに、森づくり活動を通して継続的な自然体験活動と環境学習の場を提供。自然と触れ合いながら、MERRYな笑顔と感性を育てていくコミュニケーションプロジェクトです。



⑦ MERRY こどもプロジェクト 2007.03.24-

「MERRY こどもの森づくり」を核に、今年新たに、エコ、サイエンス、スポーツ、アートのカテゴリを加え、「MERRY こどもプロジェクト」を展開します。「MERRY こどもプロジェクト」では、今後、「環境」「教育」「子育て」などをテーマとする一般催事へも積極的に参加。社会全体で子どもたちの環境改善を図るよう努力します。



⑧ MERRY IN NAKAKU 2008.04.01-2009.03.31

中区制100周年を、みなさんの笑顔でいっぱい。平成20年4月、中区は区制施行100周年を迎えます。中区では区制がスタートして100年の節目に、区民の皆さまの、とびきりの笑顔とメッセージをたくさん集め、大きなフラッグやポスターにして、テレビ塔や商店街など、街の中をMERRYでいっぱいになります。

www.merryproject.com

EXPO Cafe との コラボレーション プロジェクト



MERRYこどもの森づくり

子どもたちの夢が いっぱい詰まった森づくり。
それは森で育つ生命の多様性と地球の健康、
そして子どもたちの顔から失われつつある
満面の笑みをゆっくり取り戻すための活動です。
だから、MERRY(幸せ)なのです。

保育園や幼稚園の子どもたちが、森で種を拾います。それを園に持ち帰り、プランターに土を入れ、種を植え、水をやります。芽が出たら、みんな、ニッコリ! その芽を大切に大切に扱い、元気な苗木を育てます。種を拾ってから、3年。立派に育った苗木を、子どもたちは地元の森に返しに行きます。そして、植えた苗木が大きな木に育ってくれることを願いながら、自らの将来の夢や、家族のしあわせ、地球のしあわせなどについて祈ります。私たちは、この子どもたちの願いとMerryな笑顔を記録し、その想いを日本全国の人びとに知っていただき、もっと、もっと、仲間を増やしていきたいと考えています。そして、いつか…、いえ、近い将来、日本の幼稚園・保育園の子どもたちから始まったこの森づくりが、アジア、南米、アフリカなど、世界の子どもたちへと広がっていくことを夢見ています。



◎活動内容

2006年

サンプル事業として、全国5ヶ所の幼稚園・保育園で実施しました。水谷さんは、すべてに同行し、子どもたちのMerryな笑顔を撮影しました。



2007年

「愛・地球博成果継承発展助成事業」の助成金をいただくことができ、プロモーション事業として秋に取材を行い、「森づくりキット2007」を制作しました。「MERRYこどもの森づくり」の事業意義と具体的な活動内容を広く全国の幼稚園・保育園の皆さまに知っていただくために、「森づくりキット2007」とモリゾー&キッコロの絵本「ちきゅうとのやくそく～MERRYこどもの森づくり・特別編」をセットにして、今後、順次、幼稚園・保育園へ配布する予定です。

◎「MERRYこどもの森づくり」キット2007

- ・森づくりレポート2007
- ・昨年のレポート
- ・育苗記録ノート
- ・子ども用エコバック
- ・段ボールパッケージ



- 「森づくりキット2007」とモリゾー&キッコロの絵本「ちきゅうとのやくそく～MERRYこどもの森づくり・特別編」をご希望の方は、下記までご連絡ください。(送料はご負担願います)
- また、MERRYこどもの森づくりに参加希望の幼稚園・保育園関係者もご一報ください。お待ちしております。

【EXPO Cafe発展協議会】

TEL(052)990-6427 FAX(052)220-3086 E-mail:info@expo-cafe.net

ゴールデンウィークは、 松坂屋南館 オルガン広場で、 エコ・トークを展開!

[今後の予定]
ECO×MERRY
トーク

ゲスト

- 5月3日(土・祝) ジョン・ギャスライトさん(農学博士・タレント・コラムニスト・エコロジー空間プロデューサー)
- 4日(日・祝) 鉄崎幹人さん(アウトドア自然派タレント)
- 5日(月・祝) 原田さとみさん(タレント・セレクトショップオーナー)



ジョン・ギャスライトさん



鉄崎幹人さん



原田さとみさん

■ホスト 水谷孝次、酒向由季

※ゲスト、時間が予告なく変更になる場合もございます。

■時 間 第1回/13時～ 第2回/15時～

■場 所 松坂屋本店南館1階 オルガン広場

中区制施行100周年記念事業



[記念式典]

- 4月27日(日) 14時～16時30分 中京大学文化市民会館 オーロラホール

[おもな記念事業]

- MERRY in NAKAKU展/4月1日(火)～5月6日(火)
中区役所1階ロビーをはじめ区内屋外各所に掲出
- 中区今昔展/4月25日(金)～5月4日(日) 名古屋市民ギャラリー栄 8階
- 中区100年祭/10月5日(日) 久屋大通公園 エンゼル広場&もちのき広場

[記念誌]

- 中区制100周年記念誌の発行/A4サイズ 約170ページ 一般定価1,000円
(購入希望の方は、中区役所総務課 TEL(052)241-3601へお問い合わせください)



中区制100周年記念事業実行委員会

[今後の予定]

ECO×MERRY タウン

2008年、10月。

「都心から始まるエコムーブメント」をスローガンに、約200のお店や企業が参加するエコイベント

「ECO×MERRYタウン」を実施!

「ECO×MERRYタウン」への参加方法



■「ドングリの苗木育てプロジェクト100」

「MERRY こどもの森づくり」に参加している幼稚園・保育園の子どもたちが、各園や家庭で育てている「ドングリの苗木」を1店舗につき1本預かっていただき、1年間育てていただきます。(1年後に子どもたちと植樹)

■「ECOチャレンジプロジェクト100」

ショップごとに、オリジナルのECO活動を実施していただきます。「ECO×MERRY」には賛成だけど、何をやって良いかわからないというショップの方は、下記の例を参考にするか事務局にご相談ください。

【参考例】

「期間中限定のLOHASメニューを開発」「マイ箸持参客に〇〇をサービス」「マイバッグ持参者には□%OFFサービス」「ノウゼンカズラ(つる性植物)などで簡易壁面緑化を実施」「マイボトルをお持ちの方に給水サービスを開始」など



「ECO×MERRYタウン」への参加費と参加特典

【参加費】 1店舗 20,000円

【特典】 ●全店掲載のフリーマガジンを10万部発行

「参加店および応援施設(市関連施設、銀行、デパート、etc)からの配布」

●水谷孝次氏デザインの店頭用オリジナルポスターを提供

●来店促進プランとして、ECO×MERRYポイントアッププレゼントを実施

「ECO×MERRYタウン」を、ECOエンターテインメントなイベントにするため、お店の方ももちろん、企業、行政、学生の皆さんなど、多方面にわたるご協力をお願いしています。興味のある方はぜひ、ご一報ください。お待ちしております。

EXPO Cafe発展協議会 (ECO×MERRYタウン実行委員会事務局)

〒460-0002 名古屋市中区丸の内一丁目13番11号 ジャルダン桜橋9B

TEL (052)990-6427 FAX (052)220-3086

E-mail info@expo-cafe.net 担当/伊藤